

令和6年度 シラバス

()

学年	教 科	科 目	単位数	担当教員	展開	使用教科書	新編 現代の国語			
1	国 語	現代の国語	2	村 田 有 紀	必修・選択	副教材名	現代の国語学習ノート／国語便覧			
科目の目標		実際の社会生活に通用する実践的な「話す・聞く」「書く」「読む」力を育てる。								
学習の内容と進め方		基礎・基本事項である、「発音・発声」「表記のルール」「類義語・対義語」「文の組み立て・つながり方」「文章の構成」等を丁寧に扱えるよう、プリントを用いた作業学習を中心に進める。								
学習の留意点		日常話したり書いたりしている言葉を、自分以外の他人にしっかり伝えるという意志を持って学ぶ。								
評価の 観点	知識・技能	国語の特質を理解し、適切に使っている。								
	思考・判断・表現	各領域において、他者との関わりの中で伝え合う力を高めている。								
	主体的に取り組む態度	言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。								
評価 規 準	知識・技能	A	Bを上回る状況を達成している。							
		B	場面に応じた適切な表現や言葉遣いについて理解し、適切な表現で伝えている。							
		C	Bの状況に達成していない段階である。							
	思考・判断・表現	A	Bを上回る状況を達成している。							
		B	「話すこと・聞くこと」において、相手の主張を理解し、自分の意見や思いを伝えている。「書くこと」において、場面や相手に応じた分かりやすい文章で表現している。「読むこと」において、文章の意図を適切に読み取っている。							
		C	Bの状況に達成していない段階である。							
	主体的に取り組む態度	A	Bを上回る状況を達成している。							
		B	伝えようという意図を持って自分の思いをまとめようとし、適切な表現を選択しようとしている。							
		C	Bの状況に達成していない段階である。							
学 期	月	予 定 時 数	単 元	具体的な学習内容	評価の観点			評価方法等		
					知	思	主			
一 学 期	4	6	○ガイダンス 1 ことばをひらく 2 日本語を使いこなす	・筆者の主張を、論理の展開に即して的確に捉える。 ・自分の考えることを文章にまとめる。 ・場面や目的に応じた適切な言葉遣いを理解する。 ・書き言葉の役割や特徴を知る。 ・接続詞を適切に用いて文をつなぐ。	○	○	○	観察・作業 観察・作業		
		0								
		0								
	5	0	3 わかりやすく説明する 4 聞く力を育む	・効果的な説明の仕方を知る。 ・一般的な事象と個別の事象との関係性を知り、論理を展開する。 ・論理的な文章の読み方を知る。 ・聞き取る姿勢を身につける。 ・聞き取って得られた情報をメモ化する。 ・メモ化された情報を再整理する。 (夏季休業中の課題：読書感想文)	○	○	○	観察・作業 観察・作業		
		0								
		0								
	6	7			0	0	○	○	○	観察・作業
		0								
		0								
	7	0			○	○	○	○	○	観察・作業
		0								
		0								
小計		28								
二 学 期	8	8	5 論理を読み取る 6 伝え合いのレッスン	・論理的な文章の構成を理解する。 ・具体と抽象、対比の関係、主張と根拠の観点から、要旨を的確に読み取る。 ・テーマを決めて話し合う。 ・話し合いの結果として、一定の結論を得る。	○	○		観察・作業 観察・作業		
		0								
		0								
	9	0			8 情報と向き合う 9 他者を動かす	・情報を相互に関係づけて考える。 ・根拠の妥当性について理解する。 ・目的に応じた表現や言葉遣いを理解する。 ・伝えたいことが伝わる表現技法を理解する。 ・説明の仕方や表現を工夫する。 ・決められたテーマに沿ってプレゼンテーションをする。	○	○	○	観察・作業 観察・作業
		0								
		0								
	10	0	○	○			○	○	観察・作業	
		0								
		0								
	11	7	○	○			○	○	○	観察・作業
		0								
		0								
	12	0	○	○	○	○	○	観察・作業		
		0								
		0								
小計		30								
三 学 期	1	6	7 説得力を高める 10 社会に目を向けて	・自分の意見を持つ。 ・読み手の理解が得られる構成や展開について理解する。 ・個別の情報と一般化された情報の関係を理解する。 ・筆者の主張をもとに、自分の考え方を整理する。	○	○	○	観察・作業 観察・作業		
		0								
		0								
	2	0			○	○	○	○	観察・作業	
		6								
		0								
	3	0			○	○	○	○	○	観察・作業
		0								
0										
小計		12								
合計		70								